



新型コロナワクチン接種
コールセンターの様子

5月24日から75歳以上の高齢者の接種を開始しています。続いて、6月1日からは、65歳以上の方への接種を開始していますが、その接種状況を見定めながら、高齢者用ワクチンの残数を用いまして、60歳から64歳の方の接種及び59歳以下の基礎疾患をお持ちの方への一般接種へ移行するスケジュールで取り進めています。

また、ワクチンの予約に関しては、「新冠町新型コロナウイルス接種コールセンター」を設置して、専用ダイヤルによる予約受付を開始し、一時的に電話が込み合い、つながりにくい状況となりましたが、大きな混乱は無く受付対応を行っていました。



新型コロナワクチン接種後の様子

接種体制については、保健センターを接種会場とした集団接種を、国保診療所医師、看護師などのスタッフ体制により、5月24日から75歳以上の高齢者の接種を開始し、1日当たり最大

予約受付状況については、75歳以上の高齢者の予約初日には、予約が集中し対象者の54%の予約を受け付け、1週間後には80%を超える受付状況となりました。なお、65歳以上の予約受付時からは、時間帯で年齢を区切り、よりスムーズに受け付けができる体制とし、こちらも受け付けから3日後には80%を超える予約状況となりました。

一方、5月10日に新冠町社会福祉協議会が入居する施設に事務所を構える、別団体の職員1名の感染が確認され、町行政の運営と密接な関係にあることから、緊急の対策本部を開催の上、対応などを協議し、即日、職員全員のPCR検査の実施及び業務の停止措置、町が委託する移送サービスの町職員による代替対応、利用者への周知、施設の消毒などを迅速に行い、関係者全員の陰性が確認され、混乱やサービスの停滞を招くことなく、2日後の12日から業務を再開しています。

また、新冠温泉についても5月14日に浴場の清掃担当従業員1名の感染が確認され、即日、同僚の清掃担当従業員8名の抗体検査及びPCR検査を行い、全員の陰性が確認されたことから営業を継続する旨の報告を受けています。

同じく新冠温泉で、5月20日に宿泊客1名の感染が判明し、

144人の接種を行い、移動手段のない高齢者の送迎も実施する体制で取り組んでいます。

接種当日の急なキャンセルが発生した場合の取り扱いについては、まず、会場にいられている順番待ちの方に繰り上げ接種のご協力をお願いするとともに、町内児童保育施設の職員や小中学校教員などを事前登録した上で、接種の呼び出しを行い対応しています。

副反応の状況については、ワクチン接種の副反応として発熱、倦怠感を始め、接種直後の重篤なアナフィラキシーショックが国内において報告されています。当町の接種会場においても、接種後の経過観察中におけるアナフィラキシーショック事例が発生しましたが、即時にその方の状態確認を行い、国保診療所へ移送し医療処置及び入院対応を行っています。

町民の皆さまに置かれましては、いち早くワクチン接種を希望されていると思います。町職員一丸となつて、この事態に対処しているところであり、早急に接種を終えられるよう、今後

その方は、長期滞在者であったため、施設内の広範囲にわたる行動があったものと推測し、翌日の21日から23日までの3日間を休館とすること及び、全従業員のPCR検査を実施する旨の報告があり、これを受け、従業員による速やかな施設内の消毒作業は困難であると判断し、対策本部から町職員15名を派遣して客室や厨房を含む全館の消毒に当たりました。

また、朝の通学便について、車内の混雑に新型コロナウイルス感染の不安を感じるという声が町に届いた際には、通学便の乗車状況を職員が現地調査し、過密な状況にはないことを確認したほか、バス事業者に対しバス車内の空気浄化の状況などについて、文書をもって確認し問題がない旨の回答を得ています。

今後は、日高地域広域公共交通確保対策協議会が利用者の声

令和2年度をもつてJR日高線は廃止され、本年4月1日からバス体系による公共交通サービスが始まりました。

サービスマン開始にあたっては、バス運行の利便性保持と将来持続可能性という短期的視点と長期的視点の双方から検討、協議がされ、現時点における利用者ニーズの反映に努めたものとなっております。

しかしながら、バスダイヤの再編成によつて週末における通勤利用者の利用に支障が生じるという事案があつたため、コミュニティバスなどの活用によつて利用者の利便を確保しています。

議会

- 第2回定例会 -

6月15日に招集された第2回定例町議会は、6月18日、全日程を終えて閉会しました。今定例会では、鳴海町長、奥村教育長の行政報告のほか、令和3年度の補正予算などが審議されました。町長と教育長の行政報告の概要についてお知らせします。



町長行政報告

1 新型コロナウイルス感染症対策等について

○対策本部会議の開催状況

昨年2月26日に「新冠町新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置して以来、連日、定例の本部会議を開催し、管内における新規感染者の発生状況などの確認、情報の共有と町内で感染者が確認された場合、速やかに対応や対策を講じられるよう体制を維持し、現在に至っています。

○感染状況等

新型コロナウイルス感染症の拡大はとどまることなく、5月連休明けから更に感染が拡大し、北海道においては、5月9日に「まん延防止等重点措置」が適用となりましたが、わずか1週間後の16日には31日までを期間とする「緊急事態宣言」が発令されました。

しかし、この期間では、新規感染者の拡大は収まらず、6月20日まで期限が延長されました。日高管内についても同様に、5月連休明けから感染が急拡大しましたが、当町については、こども園、新冠・朝日小学校及び

び中学校の関係者における感染は発生しておらず、これは学校関係者と保護者における感染防止行動の徹底や児童・生徒の自主的な登校の自粛などによるものと考えています。

一方、5月10日に新冠町社会福祉協議会が入居する施設に事務所を構える、別団体の職員1名の感染が確認され、町行政の運営と密接な関係にあることから、緊急の対策本部を開催の上、対応などを協議し、即日、職員全員のPCR検査の実施及び業務の停止措置、町が委託する移送サービスの町職員による代替対応、利用者への周知、施設の消毒などを迅速に行い、関係者全員の陰性が確認され、混乱やサービスの停滞を招くことなく、2日後の12日から業務を再開しています。

また、新冠温泉についても5月14日に浴場の清掃担当従業員1名の感染が確認され、即日、同僚の清掃担当従業員8名の抗体検査及びPCR検査を行い、全員の陰性が確認されたことから営業を継続する旨の報告を受けています。

同じく新冠温泉で、5月20日に宿泊客1名の感染が判明し、

2 バス転換後の地域公共交通について

令和2年度をもつてJR日高線は廃止され、本年4月1日からバス体系による公共交通サービスが始まりました。

サービスマン開始にあたっては、バス運行の利便性保持と将来持続可能性という短期的視点と長期的視点の双方から検討、協議がされ、現時点における利用者ニーズの反映に努めたものとなっております。

○新型コロナウイルス感染症ワクチン接種

ファイザー社製ワクチンが、5月1日に国保診療所に到着し、ゴールデンウィーク明けの7日から医療従事者への優先接種を開始し、高齢者、障害者施設の入所者と従業員及びワクチン接種会場従事者への接種を実施し、